



5th October 1992

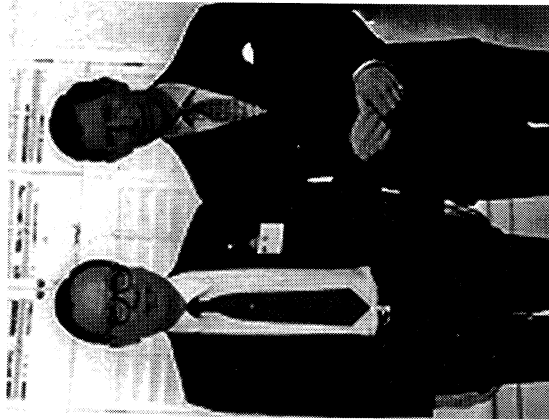
Dear Mr. Otake,

It was very good of you to write as you did and we shall all be very sad that you are both leaving London. I need hardly say how much we have enjoyed your kind and helpful comments and suggestions. I am sure the Prince and Princess of Wales will be very interested in your comments. I do hope it might be possible for you to persuade your successor in London to take a similar interest.

I also hope that you will have great success in your new appointment and I can only imagine it will be nice to be back home again!

Yours sincerely  
Charles

ロンドン離任時にチャールズ皇太子より頂戴した感謝状  
1990年2月、チャールズ皇太子と  
米国チャールズトン市にて



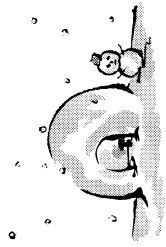
英国王室のチャールズ新国王戴冠式は、二〇二三年



岡部 陽 一

## チャールズ新国王の思い出

会員談話室



(掲載は50音順)

当時は皇太子であった新国王は私費を投じて数十人のスタッフを抱え、一九八〇年代初めから①地球を環境破壊から護る、②伝統的な建築物のファサードを残すなど都市の美観を保存する運動を主導されてきた。この二つに加えて企業の地域社会との交流

We were deeply touched by your most kind and thoughtful message following our Coronation. We are enormously grateful to everyone who took part in the celebrations, and particularly appreciate that you so generously took the time to write to us on this very special occasion.

Charles



2023年9月にチャールズ新国王から頂戴した礼状

五月六日にロンドンのウエスト・ミンスター寺院にて厳かに執り行われた。戴冠式は宗教的な儀式であると同時に、君主の即位を祝福する機会でもあり、その様は世界中に放映された。チャールズ新国王は一昨年九月、エリザベス女王の死去に伴って国王に即位したが、戴冠式は君主の頭に王冠を授けるという象徴的な儀式によって、即位したことを国内外に印象づける意味がある。この戴冠式は千年以上にわたりほぼ同じ形で続けられ、今も行われているのはヨーロッパでは英国だけである。

チャールズ新国王からは、一九九二年に英国を去るにあたって感謝状を頂戴していたので、ご戴冠を祝福申し上げるお祝い状を認めたところ、新国王とカミラ王妃の連名での写真入りの礼状を受け取った。貴重なありがたい書状であるので、私事ながらご披露したい。

私の住友銀行在勤中、ロンドン勤務は二回にわたり十三年半と長かった。チャールズ新国王との機縁は一九八七年に新国王が主催する「ビジネス・イン・ザ・コミュニティ」という企業の社会貢献活動に知人から懇請されて参加したのが始まりであった。

を促進し、企業と地域との共生を提唱する運動が「ビジネス・イン・ザ・コミュニティー」であった。この社会啓蒙活動には、英国の財界人が多数参加していた

6<sup>th</sup> May 2023

Dear His Majesty King Charles III,

I hope this letter finds you in good health and spirits.

On behalf of my wife and myself, we would like to extend our warmest congratulations to you and Queen Camilla on your recent coronation.

The coronation was a momentous occasion for ourselves, we welcome you as new monarch and leader of UK people. We were filled with a sense of pride and hope, knowing that you paid a keen attention to challenge to admit diversity among different races and religious groups.

As we celebrate your coronation over television, we are reminded of the rich history of and traditions that have shaped your country. We are also filled with hope and excitement for the future, believing that under your guidance, UK will continue to thrive and prosper.

I had joined your social activities related to Business in the Community from late 1980's to 1992, travelling to Prague with you on May 1991, and also to Charleston, US to advocate your passion for the protection of historical architecture. I have been displaying thank-you letter dated 6<sup>th</sup> October 1992 on my desk, which you wrote to me, when we had left London.

Once again, congratulations on your coronation. May your reign be long and prosperous, and may you continue to inspire UK people with your leadership and dedication to your great nation.

Sincerely,



が、なぜか日本人は私だけであった。

一九八九年にベルリンの壁が崩壊した時には、当時のチャールズ皇太子が率先して英国の財界人を東ね、

東欧諸国を訪問するなど、この活動の国際展開にも注力されていた。私もこのミッションの一員としてプラハやブダペストを訪問、地場の企業家と社会主義から資本主義への転換方策を話し合った。

さらには、米国東海岸のサウス・カロライナ州の港町・チャールストン訪問にも同行した。この町には植民地時代からの古い街並みがきれいに保存されているので、景観保護のあり方について企業人と現場で議論をするのが目的であった。

チャールズ皇太子を囲む集まりで会員に求められたのは、資

チャールズ新国王ご戴冠に当たってのお祝い状

Yoji Okabe  
1-1, 3-chome, Inokashira, Mitaka-city, Tokyo, Japan, 181-0001  
E-Mail: thodsp.ii@fu.or.jp. URL: http://www.yokabe.org

金の寄付といった金銭的なものではなく、自らが体を動かしての奉仕や協力であった。会合では、皇太子から「この問題はバンカーとしてどう考えるか」などのご下問があり、参加者がそれぞれの意見を述べた。皇太子は一人ひとりの意見にじっくりと耳を傾けられ、最後にご自身が、その日の議論をまとめる形で締めくくられるのが通例であった。

ウインザー城やスコットランドのバルモラル城などでのパーティーにもたびたび招待された。また、皇太子が選手として出場するボロの国際試合にもよく招かれた。サッカー競技場の四倍も広いグラウンドを馬に跨って駆け巡るボロの競技は予想以上に勇壮なものであった。新国王はプロ顔負けのボロ選手であり、カミラ妃と初めて知り合ったのもボロ競技場であった。

新国王は水彩画家としても有名で画業歴は五十年を超える。スコットランドの風景やスキーを楽しまれたスイス・アルプスの風景画が中心である。一九九七年から二〇一六年にかけて、およそ二百万ポンド（三・六億円）の複製画が販売され、英国で最も人気のあるアーティストの一人となっているとの記事を見かけた。

新国王は来日時に京都の大宮御所でスケッチをしておられたと伺ったことはあるものの、公務の合間にこれだけの水彩画を描かれた根気には敬意を新たにしたい。

(元株式会社住友銀行専務取締役・元広島国際大学教授)